

主任教授からのメッセージ

意外と認識されていないことですが、呼吸器外科で行う手術の多くは2時間程度の比較的短時間のものが多く、一日の中での時間の使い方の見通しが効きやすいことが診療科の特徴の一つです。女性に限らず男性にも子育て世代に優しい診療科であり、現在もお互いに各家庭の事情を融通しながら時間の都合をつけて、仲良く診療チームと活躍しています。

○ 診療科の特徴

1956年に関西医科大学に胸部外科学講座が開設され、60年間にわたって心臓血管外科と呼吸器外科の領域について診療・教育・研究を行ってきましたが、呼吸器外科領域で対応すべき肺癌などの増加に対応し、2016年5月に呼吸器外科学講座が開設されました。また2006年以降、附属病院のみで呼吸器外科診療を行ってきましたが、2016年5月から総合医療センターでも呼吸器外科診療科を開設しました。症例は原発性肺癌を中心に悪性縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、自然気胸などを主な対象として手術治療を行っています。

○ 診療科で働く女性医師

2019年に女性医師が1人入局し、第一線で活躍しています。外科専門医を取得するために当院の外科専門研修プログラムに所属し、現在他科もローテーションしながら研修しています。2023年に外科専門医を取得し、2027年には呼吸器外科専門医を取得出来る予定です。



▶ 職場復帰への取り組みについて

○ 復帰までの道のり

	内容	指導下	独立
外来	検査	1～3か月	1年以降
	一般外来	1～3か月	3か月～
	科別専門	1～3か月	3か月～
病棟	入院患者受け持ち	1～3か月	3か月～
	救急対応（日勤）	3か月～	1年以降

○ 研修内容

希望に合わせ、上級医のサポートのもと、無理なく手術の受け持ち、執刀を開始して頂きます。時間外診療についてはオンコール医が対応します。



○ 女性医師キャリア形成支援担当医師からのメッセージ

肺癌は日本人における癌死の第1位であり、患者数も年々増加傾向にあります。それに伴い、呼吸器外科医の増員も必要になります。今後ますます、呼吸器外科医として活躍する機会が多くなると考えられます。また呼吸器外科は他の外科と比べ、夜間の緊急手術は少なく日々の予定が立てやすい科であると考えられます。女性で外科系を目指している研修医、学生は是非一度話を聞きに来て下さい。